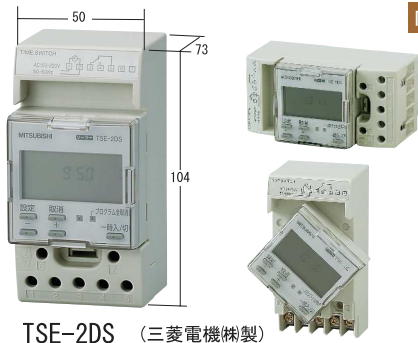
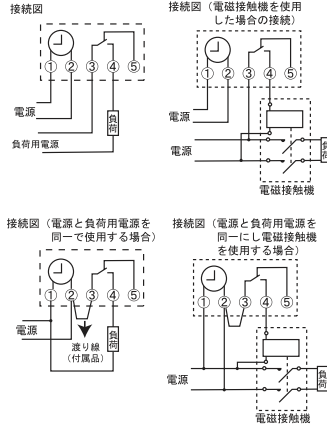


- 特長 電子式ソーラータイムスイッチ ●ネオン塔・看板照明制御のプロフェッショナル。●これ一台で、一年中時刻調整の必要なし。
- 小・中型看板に ●協約(2Pブレーカ)寸法の小型タイプ。●盤内取付けに便利な協約寸法DINレール取付け可能。
- 取付け方向に合わせて表示の向きも選べます。●小型なので、どこにも入ります。

三菱ソーラータイムスイッチ



TSE-2DS (三菱電機製)
1台で縦置き横置きが可能!!
別回路、同一回路どちらも対応!!



仕様

形名	TSE-2DS
制御方式	ソーラー制御
プログラム周期	24時間
定格電圧	AC100~220V両用
周波数	50~60Hz両用
消費電力	AC100V・1VA以下・200V・4VA以下
時刻表示	24時間制(00時00分~23時59分)
時計精度	月差15秒以内
セットポイント数	最大4点(日没入、夜間切、早朝入、日出切)
ON-OFF 最小間隔	1分
出力スイッチ構成	1C
出力接点容量	AC250V/8A (抵抗負荷)
停電補償	10年間(+20°C、停電率50%以下)
使用温度範囲	-10°C~+50°C
使用湿度範囲	85%RH以内(結露しないこと)
重量	200g
外形寸法	50(W)×100(H)×73(D)
取付寸法	協約形取付・IEC35mmレール取付け可能

基本的な設定のしかた

●基本的にはつぎの操作手順に基づいて設定を行ってください。
(設定項目が点滅します)



- 〈手順1〉地区設定
- (設定) ボタンを押します。
 - (+)または(-) ボタンを押して地区番号を選びます。
 - (設定) ボタンを押します。



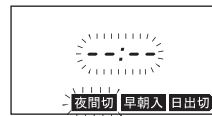
- 〈手順2〉月日設定
- (+)または(-) ボタンを押して月日を合わせます。
 - (設定) ボタンを押します。



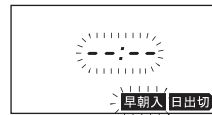
- 〈手順3〉時刻設定
- (+)または(-) ボタンを押して時刻を合わせます。
 - (設定) ボタンを押します。



- 〈手順4〉日没入時刻設定
- (+)または(-) ボタンを押して日没入時刻の早め(または遅め)時刻を合わせます。
 - 入動させない場合は(取消) ボタンを押して --- : --- を表示させます。
 - (設定) ボタンを押します。



- 〈手順5〉夜間切時刻設定
- (+)または(-) ボタンを押して夜間切時刻を合わせます。
 - 切動させない場合は --- : --- 表示のままにしておきます。
 - (設定) ボタンを押します。



- 〈手順6〉早朝入時刻設定
- (+)または(-) ボタンを押して早朝入時刻を合わせます。
 - 入動させない場合は --- : --- 表示のままにしておきます。
 - (設定) ボタンを押します。



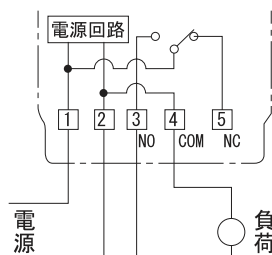
- 〈手順7〉日出切時刻設定
- (+)または(-) ボタンを押して、日出切時刻の遅め(または早め)時刻を合わせます。
 - 切動させない場合は(取消) ボタンを押して --- : --- を表示させます。
 - (設定) ボタンを押します。
- Endが表示され運転状態にもどります。

No.	地区	No.	地区
1	北海道	6	近畿
2	奥羽	7	中国
3	東北	8	四国
4	関東	9	九州・山口
5	中部・北陸	10	沖縄

大崎ソーラータイマー



TYE4-1SAK



特長

- 電子式ソーラータイムスイッチ。
- ネオン塔・看板照明制御のプロフェッショナル。
- これ一台で、一年中時刻調整の必要なし。
- 小・中型看板に。協約(2Pブレーカ)寸法の小型タイプ。
- 盤内取付けに便利な協約寸法DINレール取付け可能。
- 取付け方向に合わせて表示の向きも選べます。
- 小型なので、どこにも入ります。

仕様

形名	TYE4-1SAK
制御方式	ソーラー制御
週間制御機能	24時間
定格電圧	AC100~200V共用 (AC80V~240V)
周波数	50~60Hz共用
消費電力	3.5VA
時刻表示	24時間制(00時00分~23時59分)
時計精度	月差15秒以内
ステップ数	入・切 各1ステップ
最小設定間隔	1分
設定単位	1分
出力回路数	1回路
出力方式	有電圧C接点
出力接点容量	AC250V/5A (抵抗負荷)
停電補償	5年間
使用温度範囲	-10°C~+50°C
使用湿度範囲	85%RH以内(結露しないこと)
重量	180g
外形寸法	50(W)×100(H)×75(D)
取付寸法	協約形取付・DINレール取付共用

基本設定方法

- 各ボタン●を押します
- ボタン配列
- 設定 - + 取消 手動
-
- 確認



現在時刻を合わせる
●+●で時刻表示を変える
(例/12:45) (●●は不要です)



使用地区を合わせる
(国内のどの地区で使うか)
●●で表示を「地区」へ
●+●で地区番号を変える
(例/近畿地区「6」)●で設定



深夜にいったん「切」の設定をする
●●で「定時切」の表示を出す
●+●で切る時刻を表示する
●●で設定



カレンダーを合わせる
(現在の年、月、日)
●●で表示を「年月日」へ
●+●で年、月/日を変える
(例/99.5/25) ●●で設定



日没時刻を調整する
(標準日没時刻より早く「入」にする場合)
●●で「日没」の表示を出す●●で設定
●+●で何分早めるか表示させる
(例/関東地区で17分早める)
●●で設定

No.	地区	No.	地区
1	北海道	6	近畿
2	奥羽	7	中国
3	東北	8	四国
4	関東	9	九州 中国一部
5	中部・北陸	10	沖縄